

(別紙)

「新たな農林水産政策を推進する実用技術開発事業」のうち「緊急対応型調査研究」について今回募集する研究対象

研究対象	研究対象の背景と想定される試験研究の概要
口蹄疫発生地区の排せつ物等の適切な処理法に関する緊急研究	<p>本年4月に宮崎県で発生した口蹄疫では、まん延防止とともに家畜排せつ物等の処理が課題となっている。今後、焼埋却できない家畜排せつ物等について、適切に処理して口蹄疫の再発を防止するとともに、堆肥等として資源の有効利用を図るため、今回発生したO型口蹄疫ウイルスの日本の気候における消長に関する調査及び堆肥切り返しの際の飛散性等に関する調査が必要である。</p> <p>このため、本課題では、</p> <ul style="list-style-type: none">① 今回のO型口蹄疫ウイルスについて、排せつ物等の環境中におけるウイルス残存性の調査② 排せつ物処理における粉塵等の飛散低減策の調査を行うものとする。

上記研究対象に係る調査研究については、本年度内に終了し、所期の成果を出すことが求められます。
なお、研究費については、2千万円を上限としています。

研究内容に関するお問い合わせ先
農林水産省 農林水産技術会議事務局
研究開発官（食の安全、基礎・基盤）室 鈴木
Tel:03-3502-7430